



【利用対象】豊中市内に在住の、児童発達支援を受けるための受給者証をお持ちの
3歳児(年少)～5歳児(年長)

お子さまの特性に合ったかわりが日常の中で増えていくことで、より自分らしく生活できるよう支援します。お子さまの「好きなこと」「得意なこと」「興味のあること」「困っていること」などについて改めて発見したり、理解がより深まるよう、親子通所日などの機会を多く設けています。お子さまが持っている力を発揮しやすくなるように、環境や関わり方を検討し、ご家庭での子育てに取り入れるための工夫を、保護者の方と一緒に探していくことを大切にしています。

| | | | |
|------|--------------|---|--|
| | 健康・生活 | <ul style="list-style-type: none"> 生活場面(排尿・着替え・食事)で、本人にとって分かりやすくなるような工夫を保護者の方と一緒に考えていきます。 例) 食 事：ご家庭の食事の様子を聞き取り、給食に興味を持てるような提供方法や食べる楽しさを感じられるよう工夫をします。 着替え：手順をわかりやすくするなど、お子さんが着替えに取り組みやすくなるような方法を探ります。 | |
| | 運動・感覚 | <ul style="list-style-type: none"> 視覚、聴覚、触覚等の感覚を使った設定あそびを行います。 例：粘土・きれいな紙・楽器・風船・タオルブランコなど 設定遊びや課題の時間を通して、おもちゃの遊び方や道具の使い方などを知る、体験する機会を作ります。 | |
| 発達支援 | 認知・行動 | <ul style="list-style-type: none"> 活動の見通しがわかりやすくなるよう、今の活動が終わったら次に何をするか本人に伝えるなど、かわり方を工夫します。また、本人がわかる方法（写真など）で伝えるようにします。 活動の終わりについては、タイマーやおしまい箱（片づける箱）などを見せて、伝えます。 | |
| | 言語・コミュニケーション | <ul style="list-style-type: none"> コミュニケーション場面としては、まずは好きなもの（おもちゃや食べ物）を要求することから始め、伝わった！という成功経験を大切に、スモールステップで取り組みます。 自分の気持ちを相手に伝える方法について、事前に適切な伝え方を視覚的に示す、絵カードを用いるなど、ご本人が伝えやすい方法を探ります。 | |
| | 人間関係・社会性 | <ul style="list-style-type: none"> 複数のお友だちと場所やものを共有するような小集団の場で、本人が安心して過ごせるようかわかります。 やりとりのある遊びの中で、お友だちと一緒に取り組めるような工夫をします。 例：手順やルール、順番を視覚的に示す | |
| 移行支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 就園や就学について、職員より情報提供をします。また、豊中市の「支援手帳」について、情報提供をします。 | |
| 家族支援 | | <ul style="list-style-type: none"> 親子通所の際に、子どもの課題や得意なこと、強みなどについて、職員よりフィードバックします。 個別に面談の機会を設定します。 座談会など、保護者同士が交流できる機会を設定します。 | |
| 地域支援 | | <ul style="list-style-type: none"> あゆみや家庭、地域生活それぞれでの子どもの行動について、共有する機会（面談など）を職員から提供します。 児童発達支援センター診療所や保健師等と連携します。 | |